

鹿児島県漁海況週報

平成31年1月31日発行(1月24日～1月30日)
第2790報【旧暦：12月19日～12月25日/月齢18.1～24.1/潮汐：中潮～長潮】



鹿児島県水産技術開発センター
〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10号
TEL:0993-27-9212, FAX:0993-27-9218

【海況】

○黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

黒潮北縁域は、1月28日現在、屋久島御崎の北8.2マイル付近にあり、接岸している。

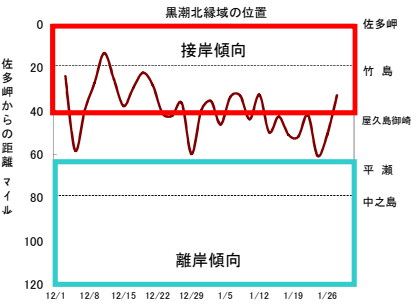
○黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は、1月29日現在、67マイル付近にある。

○定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して、屋久島御崎で0.7℃昇温し、その他の海域で0.3～1.1℃降温した。

平年比較では、佐多岬で“やや低め”，鹿児島、竹島、館海峡で“平年並”，黒潮流域、与論で“やや高め”，その他の海域で“かなり高め”となった。



表面水温℃

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	22.6	-0.5	+0.5	やや高め
鹿児島	16.6	-0.3	+0.1	平年並
佐多岬	17.4	-1.1	-0.9	やや低め
竹島	19.6	-0.9	-0.1	平年並
屋久島御崎	22.1	+0.7	+1.5	かなり高め
中之島	22.5	-0.5	+0.8	かなり高め
笠利崎	22.2	-0.4	+1.0	かなり高め
与路島	22.1	-0.3	+0.8	かなり高め
与論	22.2	-0.4	+0.6	やや高め
館海峡	16.9	-	+0.4	平年並

鹿児島一那覇定期客船観測は1/28-29
串木野一鹿児島定期客船観測は1/30

【漁況】

○定置網

館島海域では、コマサハ(0.1～1kg)が0.5～1.2トン/日、ブリ(5～17kg)が900kg/日、マサシ(80～500g)が800kg/日の入網。西薩南部海域ではブリ(4kg)が200～300尾/日の入網。鹿児島湾口薩摩半島側では、マサシ(50～80g)が0.5～2.1トン/日の入網。大隅半島東部海域では、週計で48統がチウオ、サハ類中、マサシ小主体に28トンの入網。志布志湾南部海域では、週計でチウオ、サワラ、ブリ主体に14.1トンの入網。

○キビナゴ刺網

館島海域では、2～11箱/隻・日の漁。

○トビウオロープ曳網

屋久島海域では、大トビを24～33箱/統・日の漁。

○ブリ銅付け

鹿児島湾口薩摩半島側では、4～12kgを70～80尾/統・日の漁。鹿児島湾口大隅半島側では、4～11kgを64～76尾/統・日の漁。

(まき網、棒受網、カツオ竿釣の漁況は下記の表に記載しています。)

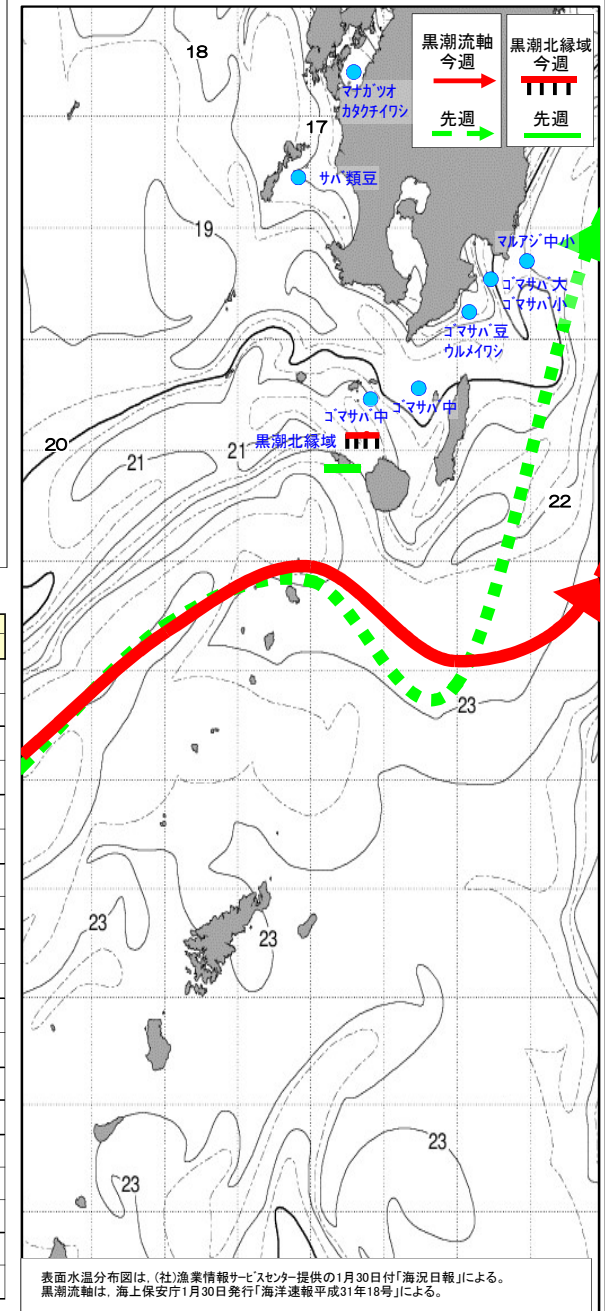
業種別・漁港別水揚げ状況

※前年同期(第2741報)

漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	1日	前週		前年同期		
						1統	隻数	漁獲量	隻数	漁獲量	
旋網	阿久根	大	0	—	—	—	0	—	3	56	
		中	3	10	長島 館東	マナカツオ66 カクチイワシ8 サハ類豆8	3.3	0	—	0	—
	枕崎	大	10	696	志布志沖 馬毛島	コマサハ大34 コマサハ中33 コマサハ小15	69.6	1	12	3	90
		中	12	487	馬毛島 竹島 宮崎沖 内之浦沖	コマサハ中69 マサシ中14 コマサハ豆12	40.6	0	—	1	6
	内之浦	中	1	6	内之浦沖	ウレメイワシ100	6.1	0	—	0	—
	山川	中	0	—	—	—	—	0	—	0	—
計	大	10	696	—	—	69.6	1	12	6	146	
	中	16	503	—	—	31.4	0	0	1	6	
東海旋網	阿久根	0	—	—	—	—	0	—	0	—	
	枕崎	0	—	—	—	—	1	292	0	—	
棒受網	阿久根	9	25	阿久根沖 長島	カクチイワシ93 キビナゴ7	2.8	0	—	0	—	
	内之浦	0	—	—	—	—	0	—	0	—	
定置網	内之浦	48	28	チウオ50 サハ類中15 マサシ小13	—	0.6	47	30	46	29	
刺網	阿久根	大	1	275	館長島 阿久根沖	カツオ中76 カツオ大24	275.4	0	—	0	—
		小	0	—	—	—	—	0	—	0	—
カツオ竿釣	海旋	2	727	—	—	363.3	0	—	0	—	
	海外旋網	山川	0	—	—	—	0	—	0	—	
	海旋	2	656	—	—	327.8	1	778	1	233	

○その他

館島海域では、曳縄でスマ(1～2kg)を30～170kg/隻・日の漁。西薩海域では、底曳網でツキヒガイ(100g)を100kg/隻・日の漁。刺網でヒラメ(1～3kg)を多い船で30～40kg/隻・日の漁。ごち網でマダイ(1～3kg)を10～20kg/隻・日の漁。西薩南部海域では、ごち網でマダイ(0.3～6kg)を20～250kg/隻・日の漁。曳縄でスマ(0.8～1.2kg)を40～50尾/隻・日の漁。刺網で1日のみマダイ(5～6kg)を50～150尾/隻の漁。志布志湾海域では、底曳網でカワリ(100～200g)を20～30kg/隻・日、ヒラメ(1～2kg)を20kg/隻・日、ハモ(600～700g)を20～30kg/隻・日の漁。屋久島海域では、一本釣りでコマサハ(500～700g)を40～50尾/隻・日、マダイ(4～7kg)を10～40尾/隻・日の漁。奄美南部海域では、旗流しの7日操業でツヅイカ(胴体のみ10～11kg)を170～180ハイ/隻の漁。延縄の3日操業でムツ(2kg)を150kg/隻、キンメダイ(1～2kg)を100kg/隻の漁。一本釣りの2日操業でチウオ(1～1.8kg)を50～80kg/隻の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の1月30日付「海況日報」による。
黒潮流域は、海上保安庁1月30日発行「海洋通報平成31年18号」による。